

校長室だより「伸びゆく梢」

文責 柴田町立船迫中学校 校長 三浦 道子

今週末に中総体を控え、迫中生は生き生きと活動しています。3年生は迫中生の良い手本になるために頑張っていますし、その先輩達を支えようと後輩達も必死の様子が見受けられます。

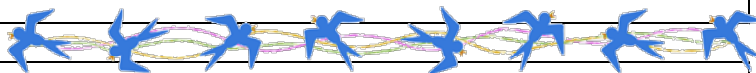
今回は、入学式や始業式で抱負を発表してくれた4名の原稿の一部を抜粋し、2ヶ月近く経った今の心境をインタビューしました。



1年生入学式代表 吉田 愛理さん

ここから先、たくさんの失敗をするかもしれません。そこであきらめるのではなく、その失敗を踏み台に成長していきたいと思います。中学校では、勉強や部活動を両立する必要があり、忙しく感じることもあると思います。しかし、そのつど自分を見つめ直し、前を向いて努力していきたいです。

⇒部活動も勉強も全力でやれています。国語と英語の単元テストも思ったよりいい点数がとれました。間違ったところもありましたがしっかりやり直します。入学して2ヶ月。中学校は楽しいです。



2年生代表 村上 絢祐さん

目標の二つ目は「よりよい先輩になる」ことです。良い先輩とはどんな先輩か考えました。その結果は、「自分がしっかりしていれば後輩はその姿を真似してくれる」です。後ろ姿で後輩を導けるようになりたいです。

⇒今、部活動で野球部の後輩の手本になれるよう頑張っています。自分みたいになりたいと思ってけると嬉しいです。2年生になって1年生の頃より家庭学習の時間も増えました。

3年生代表 菊地 夕凧さん

「みんなで意識して、昨年より成長していきたいです。」自分たちができていることを継続していくことはもちろんですが、現状で満足せず、たとえ小さなことでも、もっと良くなるためには何が必要かを考え、更に良くなるための一歩を踏み出していきたいと思います。私たちならもっとできるし、絶対にもっと良くなると思っています。

⇒3年生になって、みんな意識が変わってきていると感じています。挨拶も良くなっているし、提出物や宿題も意識が高くなっています。先輩としてみんなが成長しています。

生徒会代表(書記) 3年 佐藤 叶羽さん

私も生徒会の一員として各行事の前には積極的に意見を出し支えていきます。みなさんも行事や迫中をよりよくするために自分の考えをどんどん言ってください。一つ一つの行事に全力で取り組み、協力し、迫中生の絆を結び、生徒会スローガン「実り」を実現させましょう。

⇒生徒総会を終えました。全校生徒が一丸となって学校のために考え、議論してくれたことがとても嬉しいし、今後、総会で出た改善策に一つ一つ取り組んでいきます。詳しい内容は生徒会新聞を読んでください。みんなで頑張りましょう。



*インタビューを受けてくれたみなさん。ご協力ありがとうございました。みなさんの答え方が、とてもハキハキとしていて、その様子から学校生活の充実を感じ取りました。また、キラキラした笑顔から元気をもらいました。中総体での活躍も期待しています。



